

2017年10月23日

「Engine Expo2017」出展のお知らせ

当社は2017年10月24日～10月26日までの3日間、米国ミシガン州ノーバイで開催される世界最大規模の自動車向け展示会「Engine Expo2017」に3年連続、4回目の出展を致します。

本展示会においては、主要ターボメーカー様と具体的に進めているターボ関連部品をはじめ、次世代ガソリンエンジンとして期待されるVG (Variable Geometry) 用ノズルベーン、今後、急速に加速するEV (電気自動車) シフトにおいて重要となるDBC 基板用放熱対策部品などを中心に展示してまいります。

1. ノズルベーン

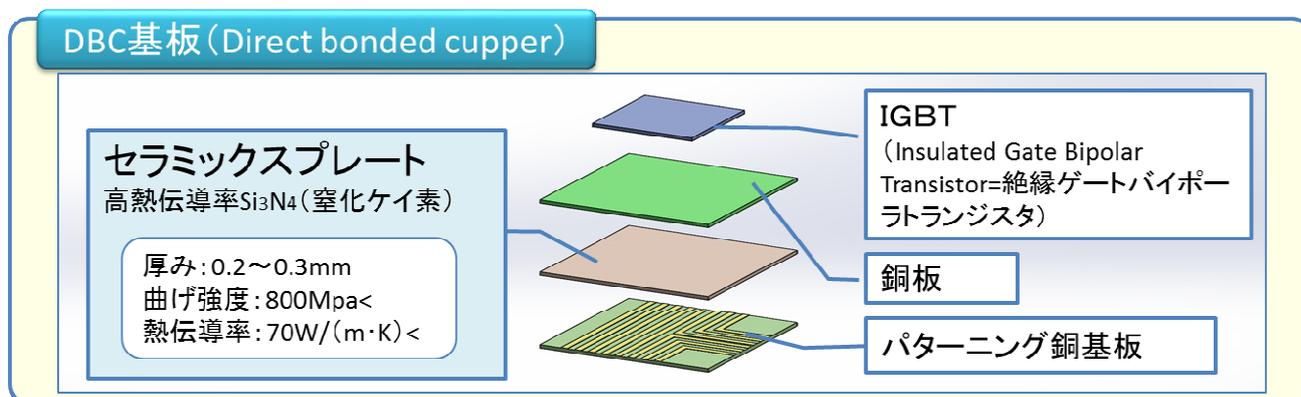
現在、主要ターボメーカー様と具体的に進めている現行ディーゼルターボ用ノズルベーン (耐熱ステンレス合金 HK30、使用環境温度～700℃) においては、当社 MIM 工法において、他社・他工法にない低コスト、高品質化を実現致しました。

また、ガソリンターボ車においては、ディーゼルターボ車と同様のノズルベーン方式を採用することで更なる低燃費、大幅なドライバビリティ向上が図れ、次世代ガソリンエンジンとして非常に期待されていますが、1000℃近辺まで上昇する過給機内温度に対応できる材質であることが必須となります。当社、独自のPIM工法においてインコネル713C(ニッケル基超合金、～1000℃) をよりニアネットシェイプで仕上げ、独自の2次加工技術で完成したノズルベーンを展示致します。



2. DBC 基板用セパレーター（窒化ケイ素製）

セラミックスの中でとりわけ、曲げ強度の高い窒化ケイ素の熱伝導率は $30\text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$ と低く、強度と熱特性を両立することが大きな課題となっておりました。材料開発から一貫して行う当社では、一定の曲げ強度を維持したまま、 $70\text{W}/(\text{m}\cdot\text{K})$ 以上まで熱伝導率を向上させることに成功した高熱伝導率窒化ケイ素プレートを表示致します。



上記 2 点に加え従来工法では製造が困難な形状・材質をニアネットシェイプ（後加工を不要とする最終製品に近い形状を得る）に仕上げ、当工法が持つ特性を最大限に生かせるアテクト独自の PIM 製品を提案致します。

【アテクト出展ブース】

「Engine Expo2017」

ホール A

小間番号 : E163

以上